

令和 8 年度岩手県政 150 周年記念事業費 「次世代人材育成プログラム」生徒募集要領

岩手県ふるさと振興部ふるさと振興企画室

1 事業目的

東日本大震災津波から 15 年、岩手県政 150 周年記念期間の最終年度となる令和 8 年度の節目に、高校生等を北米に派遣し、多文化共生や先端技術等について学ぶ機会、復興の姿や岩手の魅力を PR する機会を提供することで、岩手の次代を担う人材を育成し、「世界に開かれた地方創生」の実現を目指すもの。

2 実施概要

岩手の歴史・文化・産業等を年間を通じて学習し、プログラムの実践フィールドとして 9 月に北米へ派遣。派遣後は事後学習・成果発表会を実施するもの。

(1) 事前学習

岩手の歴史・文化・産業等への理解を深め、「(2) 渡米活動」準備のための事前学習を実施。日程等については別紙 1 を参照のこと。

(2) 渡米活動（海外派遣）

国際的な視野を広げ、多様な文化や思考様式・価値観について学ぶこと、及び、事前学習を踏まえた岩手 PR 活動実施のため、以下を実施する。

ア 派遣期間（予定）

令和 8 年 9 月 15 日（火）～22 日（火） 8 日間

※9/15（火）東京発、9/22（火）東京着

イ 派遣内容

アメリカ西海岸（サンフランシスコ、サンノゼ、ロサンゼルス）において、以下の要素から抜粋して実施予定

(ア) 多文化共生

- ・ 現地高校生（同世代）との交流
- ・ 日系移民関連展示施設

(イ) シリコンバレー関連

- ・ スタンフォード大学又はカリフォルニア大学バークレー校でのデザインシンキング講座受講等
- ・ シリコンバレーの岩手県関連企業訪問
- ・ 科学展示施設・シリコンバレー企業関連施設の視察等

(ウ) 岩手 PR 活動

- ・ ジャパンハウスロサンゼルス、MLB スタジアム等での岩手 PR 活動・現地で活躍する県人との交流等

※ モデル行程案は別添のとおり。なお、正式な行程については、委託事業者決定後（概ね 5 月）に決定するものであること。（あくまで現時点での想定であり、実施内容については流動的であること。）

※ 英語によるスピーチも実施予定であること。

ウ 引率者

- ・ 岩手県（ふるさと振興部の職員等）7 名程度
- ・ 事業受託者 10 名程度

(3) 事後学習・成果発表会

事前学習及び渡米活動を踏まえた事後学習・成果発表会を実施すること。日程等については別紙 2 を参照のこと。

(4) その他

全体を通じ、以下 4 グループに分かれての活動を想定していること。詳細については別紙 3 を参照のこと。

- ①観光・歴史・文化（郷土芸能含む）
- ②ものづくり産業
- ③復興・防災

④食

【参考：スケジュール想定】

時期	内容
R8. 6～9	事前学習
9	渡米活動（海外派遣）
10～	事後学習
11～12	中間発表会
R9. 2～3	最終発表会

3 募集人数

岩手県内の高等学校及び一関工業高等専門学校（以下「高等学校等」）に在学する生徒

30～50 名程度

※円安による渡航経費の増大等の影響を鑑み、予算の範囲内で人数を決定すること。

4 参加条件

- (1) 岩手県内の高等学校等に在学する生徒であること。
- (2) 岩手県に誇りと愛着を持ち、海外での学びを将来、岩手県の発展や地域課題の解決に生かしたいという強い意欲を有すること。
- (3) 異なる文化や環境に適応できる柔軟性と、団体行動における協調性があること。
- (5) 心身共に健康であり、海外派遣に十分耐えられること。
- (6) 事前研修、事後研修及び成果発表会等に必ず参加すること（やむを得ないと認められる場合を除く）。

[欠席事由として認められる主な例]

修学旅行への参加、定期考査や入学試験又は就職試験の受験、高総体や高総文祭等高体連や高文連が主催する大会等への参加、学年全体が受験するテスト等の受験、親族の葬儀（この他の事例については事前に相談すること）

- (7) 研修事後に、アンケート及びレポートの提出並びに各学校において報告会を必ず行うこと。

※ 必須要件ではないが、令和 8 年度確かな学力育成加速化事業費「イングリッシュワークショップ」（令和 8 年 5 月 17 日（日）オンライン型、令和 8 年 6 月 20 日（土）参集型）に参加することが望ましいこと。

5 選考について

校内推薦により推薦された者の中から、選考委員会において選考すること。

(1) 校内推薦

以下の基準等により、学校長が推薦すること。

ア 推薦基準

以下 2 つの基準を両方とも満たす者を推薦すること。

- ・ 国際的な視野を広げ、多様な文化や思考様式・価値観について主体的に学びたいという意欲を有する生徒
- ・ 将来、岩手県の発展や地域課題の解決に主体的に関わりたいという意欲を有する生徒

イ 推薦人数

- ・ 以下のとおりとする。

	各学校からの推薦人数（上限）
通常枠	2 名以下
郷土芸能枠（※）	3 名以上 5 名以下

※ 地域の郷土芸能活動に取り組んでおり、海外派遣先で郷土芸能を披露し、現地での文化交流に主体的に参加できる生徒。なお、推薦に当たっては 3～5 名程度のグループで同一の郷土芸能を披露することを想定していること。

※ 郷土芸能枠により推薦しようとする場合は、事前に事務局（ふるさと振興企画室）まで相談すること。

ウ 提出書類

(ア) 推薦書（様式1）※学校側で作成

(イ) 応募エントリーシート（様式2）※生徒側で作成

※ 様式1～2について 記入例を参考にしながら記載すること。

※ 語学力を証明する書類（外部検定試験のスコア等）を有している場合は、選考委員会における選考で加点対象となるため、提出すること。

（提出書類の例）英語検定試験の合格証明書、GTEC のスコアレポート等

エ 提出方法

- 各様式を PDF ファイル形式で電子メールで送付すること

（提出先（事務局））

岩手県ふるさと振興部ふるさと振興企画室 県政 150 周年事業担当あて

住所：〒020-8570 岩手県盛岡市内丸 10-1（8 階）

電話番号：019-629-5215

電子メール：AA0001@pref.iwate.jp

- 提出期限は、令和 8 年 5 月 7 日（木）17：00 必着とすること。
- 推薦書において「市町村民税非課税世帯」欄に「有」と記した生徒については、証明書類等の提出を別途求める場合があること。

オ その他

同一の生徒を、ふるさと振興部国際室所管事業（北米派遣研修及び中国雲南省派遣研修）に重複して推薦することは認めないこと。

(2) 選考委員会

各学校から推薦があった者から、選考委員会において選考する。

ア 選考方法

次に掲げる選考を行い、総合的に判断する。

- 応募エントリーシートの審査
- 面接（日本語）

※ 選考に当たっては、地域バランス（県央、県南、沿岸、県北）を考慮すること。

イ 面接

- 日時：令和 8 年 5 月 23 日（土）及び 24 日（日）、概ね 8：30～17：30 の間
- 場所：盛岡市内（岩手県庁舎（盛岡市内丸 10-1）周辺を想定）
- 所要時間（集合～解散）：約 1 時間
- 面接時間等の詳細については、令和 8 年 5 月 15 日までに各学校宛て電子メールにて通知する。
- なお、遠方居住等の理由により参集が難しい場合は、WEB 面接での対応も検討することから、学校経由で事前に相談すること。（校内推薦の際にその旨申し出ること）

ウ その他

- 結果通知は 5 月下旬までに、電子メールにより各学校長あて通知する予定であること。
- 選考後、参加者がやむを得ない事由により本事業に参加できない場合又は辞退した場合は、次点の者を繰り上げること。

【参考：選考に係る日程表】

内容	日程
校内推薦期間	4/1～5/7
〆切	5/7（木） 17：00
選考委員会（面接）	5/23（土）、24（日）
結果通知	5 月下旬
第 1 回活動日（結団式）	6/6（土）

6 経費負担

(1) 県が負担する経費

航空運賃（燃油サーチャージ・空港税等）、米国内での交通費及び食費の一部、宿泊費、入場観覧料、事前事後研修等に係る交通費等

(2) 参加者が負担する経費

- ・ 7～10万円程度を予定（国内交通費及び国内宿泊費の一部、スーツケース配送料、パスポート申請手数料、ESTA（※）申請代行手数料、海外旅行傷害保険料、米国内での食費の一部（2食分程度）等）
- ・ ただし、市町村民税非課税世帯の生徒については、経費の一部を免除する。
- ・ 上記以外の飲食代、日本へのお土産代、電話代等、私的な経費は参加者の負担とする。

※ESTA・・・ビザなしで米国に渡航する場合に必要な認証申請

7 留意事項

(1) 参加希望者の国籍について

参加者の国籍は問わないが、確実に渡航ビザ等を取得でき、事業の実施に支障のない者を推薦すること。

※ 外国籍または二重国籍の応募者は、国籍や渡航条件等により、派遣先国（米国）への入国やビザ取得が認められない、または追加の審査・手続が必要となる場合があること。また、日本国籍の場合であっても、過去の渡航歴等により、ビザ申請やSNS情報の申告等が必要となる場合があること。

(2) 派遣決定後の取消しについて

派遣決定後に、次に掲げる事項に該当すると事務局が判断した場合は、当該派遣を取り消すことがあること。この場合、取消決定までに要した経費の返金は原則として行わないこと。また、取消しに伴うキャンセル料等が発生した場合は、当該者の負担となる場合があること。

ア 県の代表としてふさわしくない言動が観察又は報告された場合

イ 長期又は深刻な心身の不調・疾病等が生じた場合

ウ 理由のいかんを問わず、学校の授業出席時間、登校日数等が著しく少ない場合

エ 事前学習、渡米活動及び事後学習・成果発表会に係る課題・手続き書類等の提出物を期限内に提出しない事例が複数回見られた場合

オ 応募書類記載事項及び面接等における発言内容に虚偽・詐称等が確認された場合

カ 渡米活動前の事前学習を怠っている場合

キ 上記ア～カのほか、当該事業に係る全てのプログラムを遂行することができないと判断される場合

8 個人情報の取扱い

各校から提出された推薦書及びエントリーシート等の応募書類は、本事業実施の目的にのみ使用し、他の目的には使用しないこと。

なお、海外派遣は県事業として実施していることから、県ホームページ・SNS、各報道機関（テレビ・新聞等）において、顔、学校名、性別、年齢、氏名等が公表されることがあること

9 その他

本事業は、令和8年度一般会計予算の成立を前提として募集を行っていることから、令和8年度一般会計予算が議決されなかった場合は、本件募集手続きの停止措置を行う。

別紙 1 事前学習について

回数	日時	場所	内容	対応者（講師含む）
1	6/6（土） 10時～16時 ※調整中	盛岡市内	結団式 ・キックオフ講演 ・オリエンテーション（事業概要、訪問先、手続き、準備物等説明） ※保護者説明会含む	知事（キックオフ講演） 事務局
2	・ 2回目以降については、委託事業者決定後に決定予定（概ね4～5月頃） ・ 事前学習は、6月～9月の間で、延べ5回（又は5日）程度とする予定であること。 ・ ①全体活動、②グループ活動（地域ごと）とそれぞれ実施予定であり、全体活動はWEB併用予定であること。 ・ 土日祝及び夏休み期間中の活動を想定していること。 ※上記はあくまで現時点での想定であり、今後変更の可能性があること。			
3				
4				
5				

別紙2 事後学習・成果発表会について

回数	日時	場所	内容	対応者（講師含む）
1	・委託事業者決定後に決定予定（概ね4～5月頃） ・事後学習は、渡米活動後の9月以降で実施予定であること。 ・成果発表会は、中間発表会（11～12月）、最終発表会（2～3月）の計2回を予定していること。 ※上記はあくまで現時点での想定であり、今後変更の可能性があること。			
2				
3				
4				

別紙3 グループ活動について

①観光・歴史・文化班

- ・県内の観光・歴史・文化等について学習
- ・現地で、観光・歴史・文化等についてPR活動（英語スピーチ含む）

②ものづくり班

- ・県内のものづくり産業・伝統工芸等について学習
- ・現地で、ものづくり産業・伝統工芸等についてPR活動（英語スピーチ含む）

③復興防災班

- ・東日本大震災津波からの復旧・復興等について学習
- ・現地で、新たな三陸地域や震災伝承等についてPR活動（英語スピーチ含む）

④食班

- ・県内の食産業、県産食材・郷土食等について学習
- ・現地で、県産食材、県産品等についてPR活動（英語スピーチ含む）

別添：モデル行程

日付	場所（地名）	現地時間	内容	食事・宿泊	備考
9/15（火）	東京（成田・羽田）	午後	東京発	機内で昼食	
	カリフォルニア州内	午前～午後	サンフランシスコ・サンノゼ着	サンフランシスコ又はサンノゼ泊（夕食）	
9/16（水）	サンフランシスコ・サンノゼ	午前	UCバークレーorスタンフォード大（学生交流、デザインシンキング等）	ホテル朝食、スタンフォード大等で昼食	日本人学生との交流想定（日本語）
		午後	科学展示視察（The Lawrence Hall of Science又はSLAC（スタンフォード大））※ILC関連	サンフランシスコ又はサンノゼ泊（夕食）	
9/17（木）	サンフランシスコ・サンノゼ、ロサンゼルス	午前	シリコンバレー企業訪問、アップルビジターセンター等	ホテル朝食	
		午後	ロサンゼルスへ移動	サンノゼで昼食 ロサンゼルス泊（夕食）	
9/18（金）	ロサンゼルス	午前	ロサンゼルス市内で同世代交流（高校生相当）・PR活動等	ホテル朝食	現地学生との交流想定（英語）
		午後		ロサンゼルス内で昼食、宿泊（夕食）	
9/19（土）	ロサンゼルス	午前	ロサンゼルス近郊（在LA県人、MLB等）でPR活動・交流等	ホテル朝食	
		午後		ロサンゼルス内で昼食、宿泊（夕食）	
9/20（日）	ロサンゼルス	午前	ロサンゼルス近郊（在LA県人、MLB等）でPR活動・交流等	ホテル朝食	
		午後		ロサンゼルス内で昼食、宿泊（夕食）	
9/21（月）	ロサンゼルス	午前	ロサンゼルス発	ホテル朝食	9/21朝発、9/22夕着 （実フライト12時間程度）
	（機内）	午後	移動	機内で昼食	
9/22（火）	（機内）	午前	移動	-	
	東京（成田・羽田）	午後	東京着、解散	-	

※食事単価は昼食6000円程度、夕食13,000円程度を想定

※滞在中、2～3食程度は参加者各自手配を想定していること。